

<参加メンバー>

参加メンバー：11人（男性5人、女性6人）

天候：曇り

<コースタイム>

藍本駅(集合) 09:00 (出発) 09:20 - 酒滴神社 09:25 - ポイント② 09:31 - ポイント③ 09:41 -
ポイント④ 09:57 - ポイント⑤ 10:00 - ポイント⑥ 10:17 - ポイント⑦(虚空蔵堂) 10:33 -
ポイント⑧ 10:52 - ポイント⑨ 11:09 - ポイント⑩(虚空蔵山頂) 11:30 - ポイント⑪ 12:30 -
ポイント⑫ 12:49 - ポイント⑬ 13:37 - ポイント⑭ 14:08 - ポイント⑮(草野駅) 14:24

<山行の概要>

丹波の名峰・虚空蔵山で地形図の読み方、コンパスの使い方を学ぶ山行です。

GPSアプリを使っても道間違いが往々にしてあります。コンパスを使っていたら防げたものが過去にもありました。進行方向の確認、現在地の確認、頂上で山座同定などを行います。

事前に18pointを設定してポイントごとに次のポイントの方向や距離、高低差を確認する作業を実施しました。また、虚空蔵山頂では、コンパスを活用して見えている山を地図と照らし合わせ同定しました。

当初の計画では、八王子山にも上る予定でしたが、下り道が厳しいことが分かり、高压線の保全路（巡視路）を利用して迂回しました。

【藍本駅】 日本六古窯の丹波焼(立杭陶)の郷を訪ねるみちの玄関として、JR新三田駅から3駅11kmに位置しています。

【酒滴神社】 9世紀中頃疫病神が蔓延した際に、スサノオノミコトと名乗る童子が神のお告げで、山中に滴り落ちる霊水を飲むことで病から人々を救い信仰を集めたことが始まりとか

【虚空蔵堂】 聖徳太子の創建と伝えられているようで、かつては本堂以外に毘沙門堂や薬師寺、仁王堂などの伽藍(がらん)があったそうです。シャチホコに特徴があるようで、慶長年間(1600年ごろ)の復興時に用いられ書写山や彦根城にも同形のシャチホコがあるそうです。

【虚空蔵山】 標高 592mの三田市と篠山市にまたがる、丹波の名山です。虚空蔵とは、広大な空間のように、無限の智慧と福德を備えていることを意味しており、「虚空蔵菩薩」を祀っていることから山名になっているようです。国内には「虚空蔵山」という名前の山が複数あり、長野県や長崎県にもあるようです。

(K. H.)



チェックポイント図

名前の「酒滴」神社に参加者
全員反応大ポイント③でコンパス使
用講習を実施(3回目)



ポイント⑤で講習を実施(5回目)



山中ハイキング開始



ポイント⑥で講習を実施(6回目)



ポイント⑦虚空蔵堂 清掃されていますが、寂しい環境



鬼瓦が地べたに展示
どんな歴史があるか???です



虚空蔵山頂で講習(10回目)



虚空蔵山頂で見えている山を地図と照らし合わせ同定方法の講習



高圧線の保全路(巡視路)のポイントは鉄塔が有り
ポイント⑮で講習を実施(13回目)



保全路はなかなかキツかった



草野駅到着。次の電車が五分後、その後が1時間後の為、大慌てで最後に一枚

